

JAM Update: 27 May

Assessment:

バグダッド日誌(5月27日)

○未確認生物の存在 (パート2)

先日、パレス(多国籍軍司令部)を囲んでいる人工湖レイク・ヴィクトリーのほとりでは、大きな生物が「ドボン」と入水した音を聞いた話を紹介した。その後、バグダッド連絡班内では「迫撃砲でも落ちたのか？それともワニでもいるのか？」と面白半分に冗談を言い合っていた。もっとも当の本人は、いたって真剣で必ず証拠写真を撮ってみせると意気込んでいるが、これ以上[]の疲れが溜ったり、またワニに食べられても困るので、証拠写真を撮るなんてことをしないように諫めている。

今度は[]がおかしなことを言っている。パレスから南東に約1kmのところにあるロスト・レイクという人工湖で「長さ1mは下らないであろう魚の背びれの様なもの湖面を泳いでいるのを確認した。」という。

そこで私と[]で[]を励ましている。「それは、ロストレイクに棲む伝説の生物 ロッシーではないか？」と…。キャンプ・ヴィクトリーは未確認生物の宝庫・ワンダー・ランドである。[]は炎天下、国旗掲揚塔を作ったり、整備日なしで夜遅くまで頑張っており、その疲れが相当溜っているものと考えられる。

ところで、このロスト・レイクの湖の真ん中に小さな宮殿が建っており、その周りは厳重な警備が実施され、写真撮影も禁止である。そこにサダム・フセインが収容されているとの噂があるのだが、真偽のほどは明らかではない。